

フォークリフト 人検知AIカメラシステム

Detection AI

DETAI-SET-A
(モニターあり)

DETAI-SET-B
(モニターなし)



HD
高画質

防水性能
IP69K

人間のみ
動体検知

国土交通省
NETIS
A
新技術情報提供システム

フォークリフト
人検知カメラ
システム

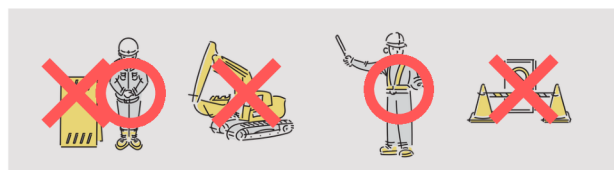
登録番号
KT-240077-A

AI技術でフォークリフトの人身事故防止

AI



形と動きによる高精度な人検知



形と動きによる精確な検出

人間の形状と動きに特化して学習されたAIアルゴリズムが、作業員や通行人を高精度に検出します。

誤検知の低減

動物や植物、壁など「人以外」には一切反応しないため誤認を最低限に抑えています。

様々な環境下での学習データに基づいた高度な識別能力を備えています。

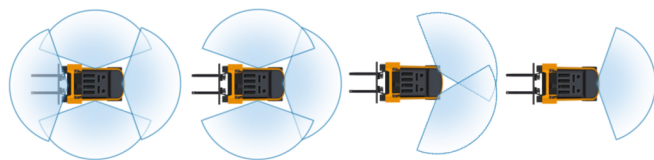
カメラ



最大4台までカメラ増設可能

カメラ1台あたりの画角は140°あり、
1台の警報装置(モニター/LEDブザー)に対して4台までカメラを接続でき
ます。前後左右の四方にカメラを設置することで、より徹底した人身事
故対策を行えます。

警報は4台のカメラのうち1台でも人を検知すると作動します。



検知範囲

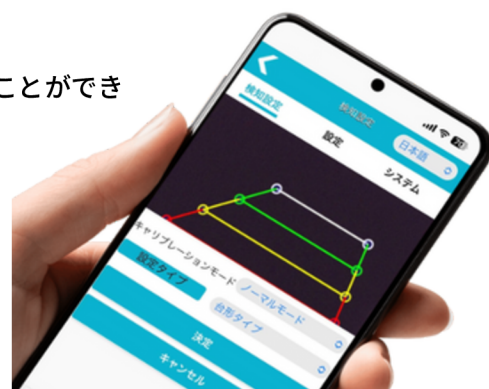


自由度の高い検知エリア設定

スマホやPCなどから検知エリアを自由にカスタマイズ

キャリブレーションユニットを使用しカメラ内部のAIの設定を変更できます。

カメラの視野角内で検知するエリアを調整できるので、使用環境に適したカメラにすることができ
ます。(※検知距離は0.5~10m。)





音量調整機能付き防水ブザー



薄型MP3再生報知器



警告ランプ

etc.
さまざまなブザーや
ライトに対応

警告灯とブザーがAIの人間検知と連動して警告

AIカメラが人間を検知すると連動して警告灯やブザーなどで、周囲の作業員(通行人)、運転手に危険を知らせます。警告灯の光とブザーの音で、危険を知らせ、人身事故を未然に防止することができます。

ブザーは防水仕様で音量調整が可能となっており、60dB~110dBから調整できます。

警告灯は、「ブルー、グリーン、ホワイト、レッド、アイスブルー、イエロー、オレンジ」の七色からお選びいただけます。

商品構成

DETAI-SET-A (モニターありAセット)



人検知AIカメラ

(品番: AI-C-140)



キャリブレーションユニット

(品番: CU-001) ※設定時のみ接続



防水7インチ有線モニター

(品番: M-WP-HD7) ※最大4カメラ接続可能



DETAI-SET-B (モニターなしBセット)



人検知AIカメラ

(品番: AI-C-140)



キャリブレーションユニット

(品番: CU-001) ※設定時のみ接続



AIカメラ直接電源取得用ケーブル

(品番: AIPW3MC) ※カメラ増設ごとに1本必要

オプション

警告装置

※各ブザー・ランプから選択可能。
(ランプのみ、ブザーのみにも対応)



防水音量調整ブザー

(品番: BZ-VWP-01)

最大110dB
音量調整可

LEDランプ

(品番: LED-RL-01)



薄型MP3再生報知器

(品番: BSV)



最大87dB

※従来構成のLED防水ブザー(LB-WP-001)、LED非防水ブザー(LB-NWP-001)は廃盤予定。

カメラ追加時



人検知AIカメラ

(品番: AI-C-140) ※計4台まで増設可



AIカメラ直電ケーブル

(品番: AIPW3MC)

その他



DCDCコンバーター

(品番: DCDC110V)

※32V以上の電源から電力供給する際に必要になります。

製品仕様

AI-C-140(人検知AIカメラ)	
有効画素数	1920×1080
動作温度	-20~70℃
保管温度	-30~80℃
動作電圧	DC 10~32V
防塵防水	IP69K
視野角	140度
検知距離	0.5~10m

M-WP-HD7(防水7インチ有線モニター)	
画面サイズ	7インチ
動作温度	-20~70℃
保管温度	-30~80℃
動作電圧	DC 10~32V
最大分割	4画面
解像度	1024×3(RGB)×600
防塵防水	IP66



フォークリフト
人検知AIカメラシステム 動画



- ・本システムは人を検知するとオペレーターと周囲に通知・警告しますが、自動でブレーキ制御し、停止または減速させるシステムではありません。
- ・本システムはオペレーターの安全運転を前提としたシステムであり、衝突回避を支援あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としています。
- ・本システムには限界があり、必ず人を検知・通知するものではありません。システムを過信せず、オペレーターは常に周囲の状況を把握し、安全運転をしてください。